

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、
エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2023. 5



インド・キヤノン (A4/モノクロ) imageCLASS MF274dn



中国・長城 (A4/モノクロ) GBM-B301X



米・ゼロックス (A4/モノクロ) VersaLink B625



NEC (A3/カラー) Color MultiWriter 3C751A



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

「実販情報」より抜粋

F-カラーMFP (A3) -東芝テック- 2

東芝テックのローエンド (31~40ppm) A3 カラーMFP の実販情報である。
2022年は、2021年比マイナスで推移している。

主な機種名	スピード (ppm)	販売 エリア	出荷台数 (台)		
			'20	'21	'22
e STUDIO 3515AC/3525AC	35/35ppm (Mono/Col)	日本			
e STUDIO 3505AC/3515AC/3525AC/3615AC		海外			
e STUDIO 3540C/3550C					

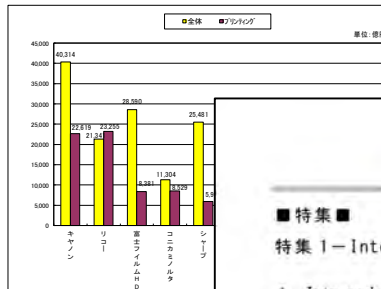
MFP
OEM/ODM
ES9465 MFP, ES9466

【特集2】「決算」より抜粋

特集2-決算

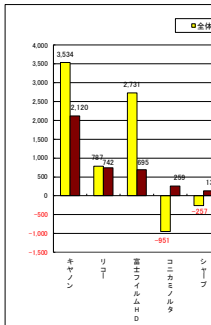
1. 全体各社比較 (2022年度)

1) 売上高

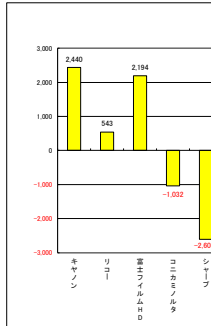


社名	売上高 (億円)	
	全体	アジア
キヤノン	40,314	22,619
リコー	21,341	23,255
キヤノン	20,500	8,281

2) 営業利益



3) 純利益



<機種概要>

東芝テックの...
のみであり、55p...
る (2023年1月...
ビードから25.8...
基本的なエンジ...
素のコントロー...
通信様である。F...
キヤノンの仕様も...
スマフォライク...
タマイズ可能。5...
い為、モーション...
る。標準給紙容...
4,860枚まで拡張...
や複合機を活用...
ルと競合力のア...

<販売台数>

同社の31~40...
ある。過去3年...
より10%ほど落...
2022年の半導体...
たという可能性...
対競合は、本々...
いという課題は...
あらたなOEM先は

【特集1】「Interpack 2023」より抜粋

■ 特集 ■

特集1-Interpack 2023

1. Interpack 2023について

1) 概要

同展示会は3年に1回の周期で開催される、世界最大の国際包装機械・資材・製菓機械の総合展示会で、インクジェット機器メーカーも数多く出展。

2) 基本データ

- ・開催期間：2023年5月4日~10日 (7日間)
- ・会場：メッセ・デュッセルドルフ
- ・出展社数：2,807社 (61カ国)
- ・来場者数：7日間合計 143,000人 (156カ国、約75%がドイツ国外から来場)



メッセ・デュッセルドルフ



会場の入り口

「その他情報」より抜粋

■その他情報■

○事業統合ーリコー／東芝テックー1

リコーと東芝テックは5月19日、オフィス向け複合機の開発・生産機能を統合すると発表した。両社の設計・開発機能及び生産機能を統合した合弁会社を2024年4月以降に立ち上げる。新会社の出資比率はリコーが過半を握る。

i. 事業統合の要旨

今回の事業統合の範囲は、両社の対象事業を統合し、主として吸収後の合併会社への出資をおお、販売面ではそれぞれ

①対象事業



ii. 両社の会社概要

1) リコー

名称	
設立年	
代表者	
本社	
資本金	
従業員数	
売上高	

2) 東芝テック

名称	
設立年	
本社	
代表者	
資本金	
従業員数	
売上高	

「新製品及び消耗品情報」 【中国】<オフィス向け>より抜粋

【中国】

<オフィス向け>

NーモノクロMFP (A4)ー中国・長城ー1

機種名	GBM-B301X			
価格	2,999元			
発売年月	2023年5月			
最大出力サイズ	A4			
スピード	35枚/分(A4)			
複合状況	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
※はオプション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
販売目標台数	(弊社推奨)中国市場: 5,000台/年			



【製品ラインアップと主要仕様】

スピード	35枚/分
解像度	600×600
ファーストプリントタイム	8.5秒
用紙サイズ	B5～A4
給紙枚数	250枚
メモリー	512MB
サイズ(W×D×H)	434×333
重量	11.7kg

【エンジン部】

帯電	ローラー
露光	レーザー
現像	非磁性
転写/中間転写	ローラー

【トナー/感光体】

トナー	メーカー
	製法/成分
感光体	メーカー
	材料と形状

【主な特徴】

中国・長城は5月にA4モノクロMFPのカラーパネル搭載。機能他、国産の主要オペ

「その他情報」より抜粋

○リファーマービッシュ品ーブラザー工業ー1

ブラザーの豪州販売会社 Brother International Australia (BIA) は4月19日、サステナビリティへのコミットメントとして、レーザープリンタやインクジェットプリンタについて高品質なリファーマービッシュ品(中古整備品)を発売すると発表した。



今回の発売は、BIAの環境責任への取り組み強化およびブラザー製品や材料の長期使用という目標を反映している。BIAは循環型社会を目指す社会的企業 Circonomy(本社:豪州クイーンズランド州)との提携を通じて、無駄を削減し、公平かつ持続可能な世界を実現する支援を行っている。BIAによる修理やトラブルシューティングのサポートの他、リファーマービッシュプログラムでは、ブラザーに返却された一部製品を、現地チームが新品に近い状態に修復し、販売することで、製品に2度目の使用機会を与えている。これにより、BIAは廃棄物を減らし、資源をより効率的に使用できるようになっているとしている。

同社によれば、循環型経済では、サステナビリティの推進において、メーカーによる再利用可能な製品設計が重要な役割を担っている。サステナビリティが奨励されれば、メーカー側は電子機器などの製品をより簡単に、よりコスト効率よく修理できる方法を考え始める。こうして循環型経済の考え方を取り入れることで、原材料への依存度を下げ、より持続可能な意思決定が促され、それが環境フットプリント(企業活動による環境への負荷)の削減につながるとしている。

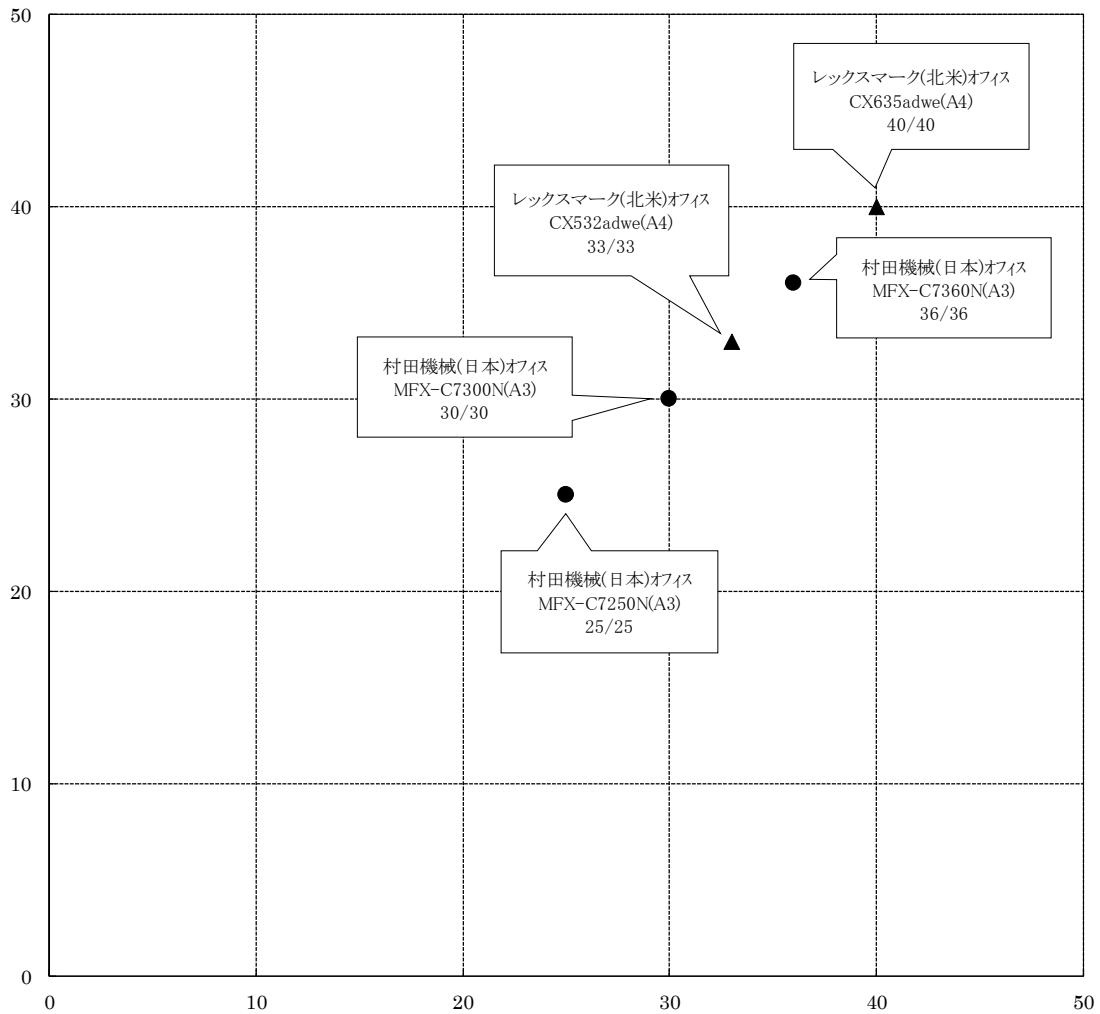
BIAは、循環型経済へのコミットメントとして、自社システムの再検討を行っており、イノベーションを通じて、材料をより長く使用し、廃棄物の発生を抑制しようとしている。また、リファーマービッシュパイロットプログラムにより、ブラザーの一部製品の長寿命化を検討し、埋立処分される電子機器の削減を目指す。BIAは継続的な改善を約束し、パイロットプログラムで学んだことを評価・測定する専門チームを設置する。そして2025年に向けて、同プログラムを強化・拡大していくとしている。

2023. 5 Executive Summary

[今月の新製品]

1. カラーMFP (A3・・・●、A4・・・▲)

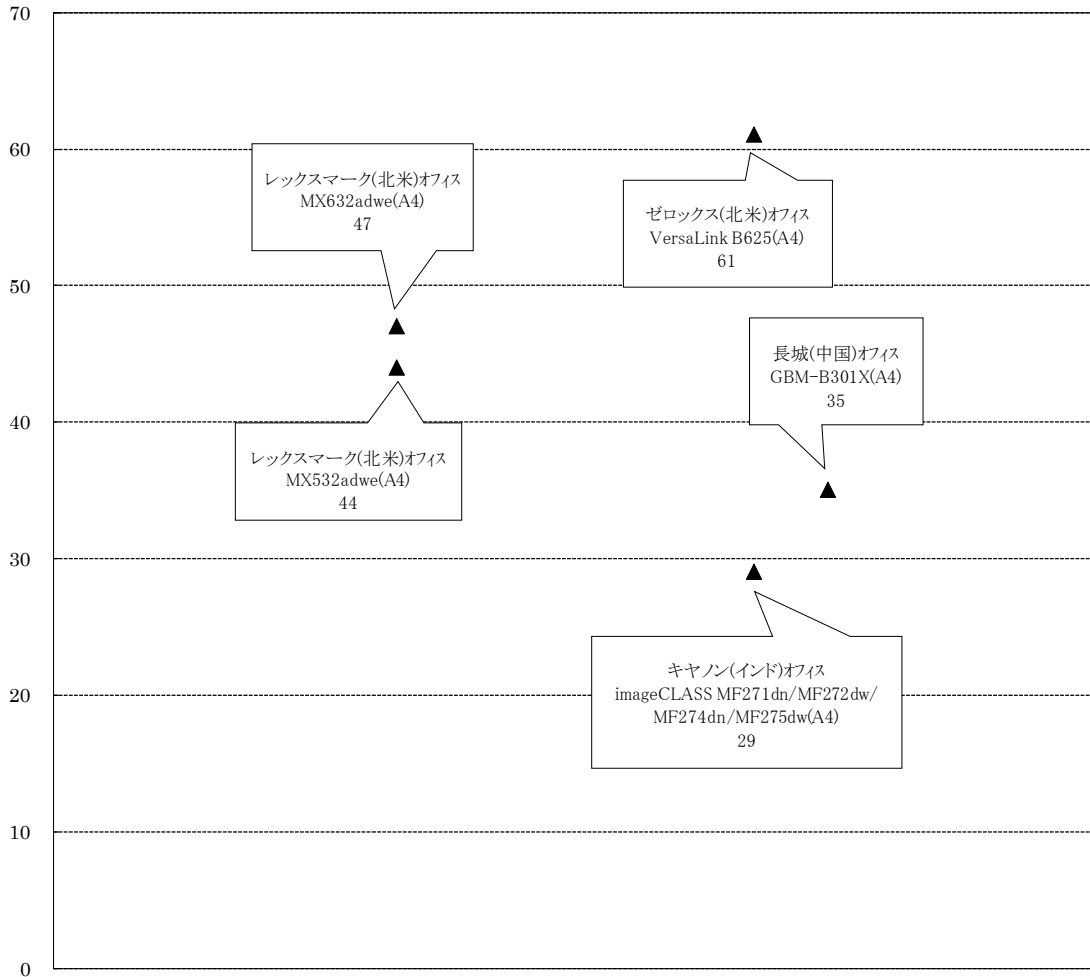
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

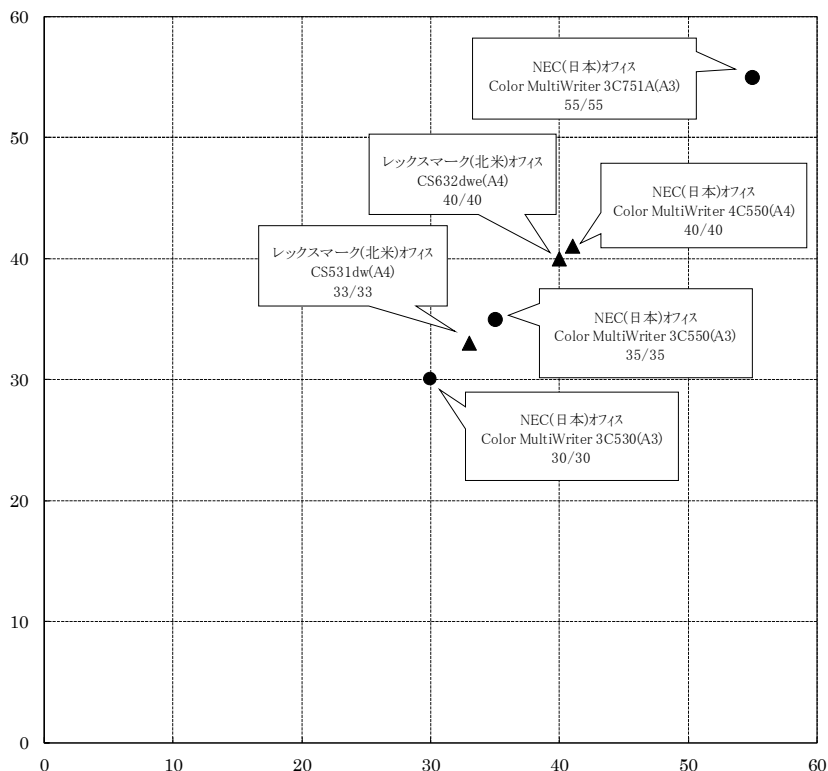
2. モノクロ MFP (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



3. カラープリンタ (A3・・・●、A4・・・▲)

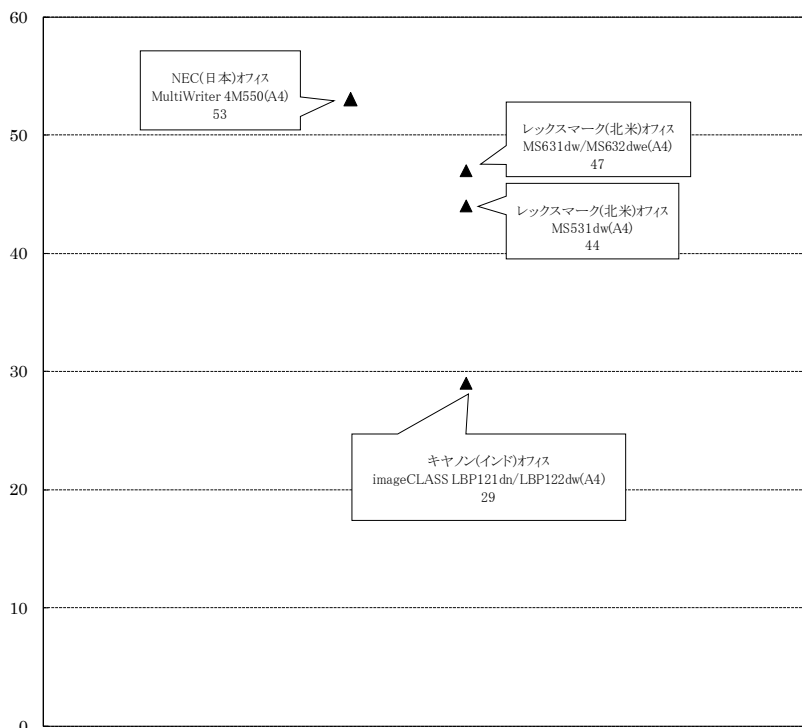
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

4. モノクロプリンタ (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



2023年5月号目次

■ 特集 ■

特集1 - Interpack 2023	1
1. Interpack 2023 について	1
2. 主要インクジェットメーカーの出展状況	3
[1] Screen GP Europe BV (オランダ)	
[2] FUJIFILM Europe GmbH (ドイツ)	
[3] HP Deutschland GmbH Specialty Print & Technology Solutions (ドイツ)	
[4] Domino Printing Sciences PLC (イギリス)	
[5] Videojet Technologies GmbH (ドイツ)	
[6] Leonhard Kurz Stiftung & Co.KG (ドイツ)	
[7] COESIA S.p.A. (イタリア)	
[8] Markem-Imaje GmbH (ドイツ)	
[9] JETRON MAKINE SAN. VE TIC. A.S. (トルコ)	
[10] Graphic Solid Inks, Inc. (米国)	
[11] Topjet S.p.A. (イタリア)	
[12] IN2 PRINTING SOLUTIONS S.L. (スペイン)	
3. まとめ	13
<インクジェット関連の出展社一覧>	14
特集2 - 決算	17
1. 全体各社比較 (2022年度)	17
2. 主要7社のプリンティング事業の業績推移	18
3. 10社の業績	19
[1] キヤノン [2] リコー [3] 富士フイルム HD	
[4] コニカミノルタ [5] セイコーエプソン [6] シャープ	
[7] 京セラ [8] 東芝テック [9] ブラザー工業 [10] OKI	

■ 実販情報 ■

F-カラーMF P (A3) - シャープ - 2	35
(BP-60C31 他)	
F-カラーMF P (A3) - 京セラドキュメントソリューションズ - 4	36
(Taskalfa 3352ci 他)	
F-カラーMF P (A3) - 東芝テック - 2	37
(e-STUDIO 3515AC 他)	
F-カラーMF P (A3) - コニカミノルタ - 2	38
(bizhub C360i 他)	

■ 新製品及び消耗品情報 ■

〔国内〕

<オフィス向け>

N-カラーMFP (A3) -村田機械- 1	39
(MFX-C7360N/C7300N/C7250N)	
N-カラープリンタ (A4) -NEC- 1	41
(Color MultiWriter 4C550)	
N-モノクロプリンタ (A4) -NEC- 2	43
(MultiWriter 4M550)	
N-カラープリンタ (A3) -NEC- 3	45
(Color MultiWriter 3C751A)	
N-カラープリンタ (A3) -NEC- 4	47
(Color MultiWriter 3C550/3C530)	

〔北米〕

<オフィス向け>

N-カラープリンタ/MFP (A4) -米・レックスマーク- 1	49
(CS531dw/CX532adwe/CS632dwe/CX635adwe)	
N-モノクロプリンタ/MFP (A4) -米・レックスマーク- 2	56
(MS531dw/MX532adwe/MS631dw/MS632dwe/MX632adwe)	
N-モノクロMFP (A4) -米・ゼロックス- 1	63
(VersaLink B625)	

〔中国〕

<オフィス向け>

N-モノクロMFP (A4) -中国・長城- 1	69
(GBM-B301X)	

〔インド〕

<オフィス向け>

N-モノクロプリンタ/MFP (A4) -インド・キャノン- 1	70
(imageCLASS LBP121dn/122dw/MF271dn/MF272dw/MF274dn/MF275dw)	

■ 生産情報 ■

P-感光体-リコー- 1	76
(感光体生産本数・金額推移/「2023年版感光体マーケット総覧」より)	
P-感光体-京セラ- 1	77
(a-Si感光体生産本数・金額推移/「2023年版感光体マーケット総覧」より)	
P-ローラー-アーケム- 1	78
(OAローラー出荷本数・金額推移/「2023年版ローラー系部品マーケット総覧」より)	

P-ローラー-住友ゴム工業-1	79
(OAローラー出荷本数・金額推移/「2023年版ローラー系部品マーケット総覧」より)	

■ その他情報 ■

O-事業統合-リコー/東芝テック-1	80
(リコーと東芝テックがオフィス向け複合機の開発・生産機能を統合)	
O-圧着トナー-富士フイルムビジネスイノベーション-1	82
(世界初の接着機能を持つ「圧着トナー」を国内で発売開始)	
O-検温ラベルソリューション-OKI/ダイワコンピューテック-1	83
(OKIの「PLAVI Pro330S」を搭載した「検温ラベルソリューション」を発売)	
O-ディーラーミーティング-シャープ-1	84
(シャープの米国子会社がラスベガスでディーラーミーティングを開催)	
O-戦略的協業-シャープ/ConnectWise-1	87
(シャープ米国子会社とConnectWiseが戦略的協業)	
O-リファービッシュ品-ブラザー工業-1	88
(豪州販売会社がリファービッシュ品を発売)	
O-インクジェット捺染プリンター-京セラ-1	89
(インクジェット捺染プリンター市場に参入)	
O-寄贈-ゼロックス/パロアルト研究所-1	92
(ゼロックスがパロアルト研究所を米SRIインターナショナルに寄贈)	
O-ワークプレイスソリューション-ゼロックス-1	93
(ワークプレイスソリューションの新たな広告キャンペーンを開始)	
O-レーザープリンター-广州欣彩电脑耗材有限公司 (Anycolor)-1	94
(互換カートリッジメーカーが独自ブランドのプリンタシリーズを発売)	
O-インク工場-MEMJET-1	97
(シドニーに染料系インクの新工場を開設)	
O-業界関連情報-各社-5	98
ゼロックスがデュプロと業務提携/コニカミノルタがJaduと業務提携/キヤノンの「imagePRESS V1000」の設置台数が欧州で250台突破/再生トナーカートリッジ大手の米クローバーが社名を変更/エプソンが大判インクジェットプリンタのラインアップを拡充	

統計速報

統計全体のあらし	103
複写機統計 (生産/受入の内訳/販売/月末在庫)	104
プリンタ統計 (生産)	108
事務用機器輸出統計	109
(ネットワーク対応MFP/単機能機)	
事務用機器輸入統計	112
(ネットワーク対応MFP/単機能機)	

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から刊行。電子写真製品に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、プロダクションプリンタ等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の国内外市場動向、海外への進出情報、国内外展示会情報、OEM情報等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会費は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥770,000(消費税込) 月会費 ¥66,000(消費税込)

英文版 \$7,000(消費税別)
2014年11月号からスタート

	特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)
2023.4	・ 感光体市場 :全世界の感光体市場を概観。感光体需要の頭打ちに加え、原材料価格やエネルギーコストも高止まりしており、今後は技術力だけではなくコスト力も含めた感光体メーカーとしての総合力がより重要となると考察。
2023.3	・ レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング :レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2022年実績)を報告。
2023.2	・ 全世界の複写機・複合機(MFP)出荷動向 :全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・ インクジェットヘッドの外販市場 :インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.1	・ レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向 :同業界の状況をレポート。 ・ プリントドエレクトロニクス・コンファレンス :プリントドエレクトロニクス市場の印刷方式を概観しながら、韓国、オランダ、フィンランドで開催された展示会を写真速報で紹介。
2022.12	・ IGAS 2022 :主要出展企業と出展状況等をレポート。 ・ 複合機・プリンタ業界における2022年の振り返りと2023年の展望 :本誌で取り上げた2022年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2023年の業界を展望する。
2022.11	・ 決算 :複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~9月期(中間期※キヤノン1~9月期)の決算を概括。 ・ JIMTOF 2022 :AM(Additive Manufacturing)エリアに出展した3Dプリンタ関連メーカーを中心にレポート。
2022.10	・ Labelexpo Americas 2022 :展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。(現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施)
2022.9	・ トナー市場 :複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。近年、市場全体が縮小に向かう中、事業売却・アウトソーシング等様々なトナーの今後の可能性をレポート。 ・ サイン&ディスプレイショー 2022 :9月1~3日に東京ビッグサイトで開催された展示会の出展状況をレポート。
2022.8	・ 産業用・商業用インクジェット市場 :事務機メーカーのインクジェット技術による市場開拓の状況を取り上げた。 ・ 決算 :複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~6月期(第1四半期※キヤノン第2四半期)の決算を概括。
2022.7	・ 中間転写ベルトの最新市場動向 :複写機・レーザープリンタの基幹部品である中間転写ベルトの市場動向を取り上げた。 ・ FESPA Global Print Expo 2022 :インクジェット技術に焦点を当てた同展示会(ドイツ:ベルリンで開催)に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。
2022.6	・ 複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向 :ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2022.5	・ 感光体市場 :全世界の感光体市場を概観。
2022.4	・ レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング :レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2021年実績)を報告。 ・ InPrint Munich 2022 :3月15~17日にドイツのミュンヘンで開催された、主にインクジェット技術に焦点を当てた展示会 InPrint Munich 2022の主要メーカーの出展状況を報告。
2022.3	・ ソリューションビジネスの現状 :主要なメーカー(5社)の中期経営計画上の位置付けと実績、及び今後の方針を俯瞰し、ソリューションビジネスの課題を改めて検討する。
2022.2	・ 全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向 :MFP(複写機・複合機)の最新出荷動向を取り上げた。全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A4MFP(複写機・複合機)の出荷状況、最新動向などを概略。
2022.1	・ レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向 :レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を特集。 ・ インクジェットヘッドの外販市場 :インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を特集。
2021.12	・ 複合機・プリンタ業界における2021年の振り返りと2022年の展望 :本誌で取り上げた2021年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りながら、2022年の業界を展望する。
2021.11	・ FESPA 2021 :10月にオランダのアムステルダムでFESPA 2021(FESPA Global Print Expo 2021)が開催。同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施。
2021.10	・ Remax2021 :展示会に出展したアフターメーカー、ハードウェアメーカー全115社(予定も含む)の最新情報(設立年、会社所在地、出荷数量他)をレポート。 ・ OGBS2021 :Tシャツプリントなどの「ガーメントプリンタ」にフォーカスし、インクジェット方式の機器を始め、アイメックスが開発したトナー扱いの機器等をレポート。
2021.9	・ トナー市場 :複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・ 中国プリンタ市場の最新動向 :中国におけるプリンタ市場の最新動向に加え、中国現地メーカーの概要、また日本メーカーと中国メーカーの提携関係などを概説。
2021.8	・ MIF(MFPメーカーのMIFの状況) :2020年の主要MFP(複写機・複合機)・プリンタメーカーのMIFの状況をレポート。 ・ 決算 :複写機・プリンタメーカー各社が発表した2021年4月~6月期(第1四半期※キヤノン第2四半期)の決算を概括。
2021.7	・ トナー用レジンの最新市場動向 :トナー用レジンの世界市場と日本メーカーの最新動向を概観。
2021.6	・ 複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向 :ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場の概観。 ・ EUにおける酸化チタン規制と各社の対応 :主要トナーメーカーの酸化チタン規制への対応状況を伝える。
2021.5	・ ヘビープロダクションプリント市場の最新動向 :同市場での印刷方式別の本体出荷動向やサイズ比率、メーカーシェアなどを概説。
2021.4	・ 感光体市場 :ポストコロナにおける全世界の感光体市場を概観。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（刊行日・価格の変更があります）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03（3831）9201、FAX：03（3831）9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2023年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《定期刊行物》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 (PDF版) 月会費：¥60,000 (PDF版)	毎月 20日	\$7,000 (PDF版) \$600 (PDF版)	毎月末	日 英	
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000～ (PDF版)	2021年 7/27～	英	
《2023年刊行予定物》						
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/22	\$5,200 (PDF版)	4/21	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	注文対応	日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27 予定	\$6,000 (PDF版)	8/下 予定	日 英	
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000 (PDF版)	10/下 予定	\$5,000 (PDF版)	12/中 予定	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧]	¥600,000 (PDF版)	12/下 予定	—	—		
《2022年刊行物》						
* 2022年版[感光体マーケット総覧] (273頁) 『基幹部品としての重要度を堅持する感光体市場の展望』	¥500,000	2/25	\$5,200 (PDF版)	4/20	日 英	
* 2022年版[ローラー系部品マーケット総覧] (393頁) 『共存共生関係の構築を目指す部品業界の総合分析』	¥400,000	4/25	\$5,000 (PDF版)	7/8	日 英	
* 2022年版[トナーマーケット総覧] (594頁) 『ハイブリッドワーク時代に於けるトナー市場の総合分析』	¥600,000	6/24	\$6,000 (PDF版)	8/19	日 英	
* 2022年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (419頁) 『ものづくりに変革をもたらすインクジェット技術の 最新市場動向』	¥500,000	10/26	\$5,000 (PDF版)	12/9	日 英	
* 2022年版[MFPマーケット総覧] (723頁) 『DX時代に問われる事務機業界の成長性分析』	¥600,000	12/22	—	—		
《その他の刊行物》						
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000 (PDF版)	2020年 12/23	日 英	
* 2020年版 『緊急レポート(コロナショックと業界大規模再編)』 (240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の 地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000 (PDF版)	2020年 6/19	日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500 (PDF版)	2014年 10/31	日 英	